

## シェーグレン症候群超音波画像診断における内部エコーの不均一性定量評価法

【はじめに】 近年、シェーグレン症候群の患者数は増加傾向にあります。この病気の診断にはエックス線唾液腺造影が用いられていましたが、体への負担が小さい超音波検査法への移行が望まれています。この研究では超音波画像にコンピュータ画像解析を行い、超音波画像診断における診断精度の向上を目的としています。本研究は長崎大学病院との共同研究です。

【対象】 シェーグレン症候群疑いにて長崎大学病院を受診し、歯科放射線科にて唾液腺造影検査並びに超音波検査をともに行った患者さん 100 名から得られた耳下腺、顎下腺の超音波画像を対象とします。これらは平成 20 年 6 月 1 日より平成 23 年 6 月 30 日までの期間に撮影された超音波画像です。

【研究内容】 シェーグレン症候群の超音波画像診断において、その内部エコーの不均一性が判断の決め手となることが多い。しかしながらその判断は術者の経験によるところが大きく、客観性に乏しい面をも有しています。そこで実際の臨床から得られた画像を用いて、内部エコーの不均一性に関するコンピュータ画像解析による診断能の客観性向上を試みます。

【患者さんの個人情報の管理について】 本研究では個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を匿名化し、慎重な取扱いを行うため、対象となられた患者さんへの不利益は生じません。また、本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文など)の際には患者さんを特定できる情報は一切含まれません。対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

【研究期間】 研究を行う期間は承認日より平成 24 年 9 月 30 日までとしています。

【医学上の貢献】 研究の成果は、シェーグレン症候群における超音波画像診断の精度向上につながります。

### 【研究機関】

代表研究機関:長崎大学

研究責任者:九州大学大学院医学研究院保健学部門・教授・大喜 雅文

研究分担者:九州大学大学院医学系学府保健学専攻・修士課程1年・村上 雄一

共同研究者:長崎大学大学院医歯薬総合研究科・頭頸部放射線学分野・助教・角 忠輝  
長崎大学大学院医歯薬総合研究科・頭頸部放射線学分野・助教・高木 幸則  
長崎大学大学院医歯薬総合研究科・頭頸部放射線学分野・准教授・角 美佐  
長崎大学大学院医歯薬総合研究科・頭頸部放射線学分野・教授・中村 卓

連絡先:九州大学大学院医学研究院保健学部門 大喜 雅文

〒814-8582 福岡市東区馬出3-1-1 Tel: 092-642-6701